



おもちゃ箱キッズみさき園 事業者における児童発達支援自己評価結果

公開日：2026年3月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動によって部屋の使い方を工夫しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		安全面を第一に配置、お預かりをしています。	職員の急なお休み等があった場合には、保護者様に送迎のご協力をお願いしたこともあったため緊急時でも十分な配置を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		子どもたちが困らず、スムーズに過ごせるよう視覚化を取り入れています。	外階段に関しては、改善が必要な部分だと思いますが、建物の構造上すぐに対応できるものではないため、段差を分かりやすくする等から始める必要があると考えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		子どもたちが触れるもの、過ごす場所は清掃、消毒の徹底を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別時間、活動、午睡等子どもに合わせた環境構成を行っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティングの際に共有し、改善する点を検討しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		気になった点はその都度話し合いを設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		事業所内で研修、勉強会を定期的に行い、支援力の向上に努めています。	管理者以外は、外部での研修や講演会に参加することができていないため、職員ひとりひとりが別の場で学ぶ機会を設けていきたいです。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		ご見学時、ご契約時に細かくアセスメントを行い、計画へと繋げています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		日頃の記録や職員間での情報共有から必要なことを取り入れています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画はいつでも確認できるようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		全員で話し合いながら毎月のプログラムを考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		年間を通して、活動の内容～順序、段階を考慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		主活動、個別時間、集団あそび等を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		前日の夕方、朝礼にて確認を行い全職員がスムーズに行動できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		気になった点は振り返りを行うようになっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		その日の様子が分かりやすく、姿が想像できるような記録を心掛けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1回は行い、一緒に見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		相談支援員と連絡、訪問を通して情報共有を行うようになっています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保育園、幼稚園と併用しているお子様には保護者様の許可を得て、連携を図るようになっています。	実際におもちゃ箱キッズみさき園へ来所していただいたり、こちらから訪問したりしながら様子を共有しあうことができていますため、今後も継続していきたいと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者様のご要望があれば、引継ぎシートを作成しています。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時、サービス提供記録にてこまかくお伝えしています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		モニタリング時にお話した内容で作成し、作成したものは確認後にサインをいただいています。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談時だけでなく、連絡帳やLINEを通して気軽に相談していただくようにしています。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	親子で参加できるイベントを計画しています。	今年度は昨年度に比べると行事が少なかったため、次年度は更に多くのイベントや保護者会等を開催したいと検討しています。
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		管理者が常にLINEや連絡帳にて対応しています。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月おたよりや活動カレンダーを配布しています。	Instagram等の更新が滞ってしまっているため、もう少しこまめに更新することでリアルタイムで楽しい情報をお伝えできたらと思います。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付きロッカーにて保管し、取扱には十分気を付けています。	
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		お子様に合わせた丁寧な支援を配慮しています。(カード、コミュニケーションボード等)	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年に数回は、職員と子どもたちのみで行っています。	引き渡し訓練等は行っていないため、そのような訓練も検討→実施へ繋げていけたらと思います。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		アセスメント時に確認しています。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		何かあった際はすぐに管理者へ報告し、書類作成と共有を行っています。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		事例を取り入れながら、どのような行動、発言が虐待となるのか話し合っています。	

	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				
--	----	--	---	--	--	--	--